

# 鉄道と女性展

鉄道を動かし、社会を動かす インタビュー集



独立行政法人 国立女性教育会館

# CONTENTS

## 目次

1. 原 希和子さん ..... 1  
東武鉄道株式会社 営業統括本部営業部 輸送企画課 主任
2. 伊川 奈穂子さん ..... 3  
東日本旅客鉄道株式会社 さいたま運転区 助役
3. 和田 恵さん ..... 5  
東武鉄道株式会社 川越乗務管区 運転士 主任
4. 石田 萌さん ..... 7  
東武鉄道株式会社 森林公園検修区 検修係
5. 岩倉高等学校 ..... 9  
理化部顧問 水上 光市 先生  
理化部1年生 飯塚さん (運輸科)、大嶋さん(運輸科)  
理化部2年生 本橋さん(普通科)、渡邊さん(普通科)
6. 早稲田大学鉄道研究会 ..... 11  
武内 優希さん  
minaさん  
川崎 直樹さん



## いつも 新鮮な気持ちで チャレンジ



これまで、どのようなお仕事を  
されてきたのでしょうか？

私は2007年に入社して、森林公園駅で駅務係として勤務し、その後、車掌として東武東上線で乗務しました。その後広報部に異動し、ここでは社内報の作成・お客さまセンター・報道対応などの業務を行いました。広報部の仕事では、紙面の企画、作成など「企画を立てて形にしてい」経験を積み、その後の職場でも通じる仕事の基本を学びました。

その後、グループ会社の株式会社東武カードビジネスへの出向や、東上業務部営業課での東上線の旅客輸送に関する仕事を経て、ふじみ野駅の駅長を勤めました。東武鉄道で初の女性駅長でした。

駅務係・車掌・駅長など現業の仕事を経験したことで、本社で計画することと、現場で実際に起こることには違いがあると理解できたことが良い経験になりました。本社業務でも、現場の状況をよく想像するように心がけています。

駅長を勤めたのち、現在の部署に異動になりました。

## 原 希和子さん

東武鉄道株式会社営業統括本部営業部  
輸送企画課 主任



昨年は産休・育休を取得し、4月に職場に復帰しました。



現場ではやはり男性が多いですか？  
大変に感じることはありましたか？

男性が確かに多く、駅務系の時も車掌の時も、当時は所属する職場には女性が1人という状況でした。まだ女性が珍しく、周囲が何かと気にかけて声をかけてくれていたので、女性が少なくて大変だと思ったことはあり



ませんでした。

男性、女性という性別よりも、様々な年齢の方と働く職場ですので、コミュニケーションを欠かさないことが大切だと思っています。

駅長時代は、自分が上司として年上の方と働くこともありましたが、上司であっても全員に対して失礼が無いように、そして壁をつくらず心の距離の近さを一緒にするようにと心がけていました。

現場で働く社員は男性が多いですが、お客様の半数は女性ですので、お客様の体調不良に際してなど、女性ならではのケアをすることができ、女性にとって活躍の場があると感じました。

## **鉄道業界で働くこと、総合職で働くことの魅力を教えてください。**

東武グループは鉄道をはじめとして運輸、レジャー、不動産、流通と、人々の生活に密着した様々な事業展開をしています。総合職は東武鉄道から出向してグループ会社で勤務をする機会もあるので、幅広いフィールドで横のつながりができ、色々な事業を掛け合わせて新しい



ふじみ野駅長を務め、台湾の鉄道会社との友好協定締結イベントに出席



車掌を務めていた頃

企画を実現させていくことができます。

またスケールも大きく、沿線開発等様々な業務を通じて社会に対して大きな影響力を持っていると感じています。

出産・子育て期間中は、時間的な制約や子供の急な体調不良などがあり、今までと同じように仕事はできないと感じていますが、限られた時間でどのように貢献していくかが重要だと考えています。周囲にサポートをいただきながらですが、日々の業務を進めることで、子育て中の女性が働くモデルケースの一つになればと思っています。

子育てのライフステージで広がった視野も活かしながら、仕事と子育てを両立できる原に任せたい、と思われるように努力していきたいです。

## **鉄道業界を目指す女性へのメッセージをお願いします。**

総合職で働いていると、様々な仕事を体験します。まっさらな目で色々な職場を見られて、いつも新鮮な気持ちでいられます。就職前に思っていたよりも働くことはずっと楽しく、やりがいを感じています。

# **後輩たちに 背中を見せて いきたい**



## **現在のお仕事とこれまでの お仕事を教えてください。**

今年5月1日からさいたま運転区の育成助役に着任して、委員会への出席や後輩へのアドバイス、各種施策の支援などの仕事をしています。また、月に1、2回当直助役として泊まりの業務があり、点呼、運転士の宿泊場所の確認、乗務員の操配などを行っています。

私は入社後、駅に配属となりました。私の入社前に男女雇用機会均等法や労働基準法が改正され、女性の深夜勤務ができるようになりました。就職活動時に会社のパンフレットに掲載されていた女性車掌を見てカッコいいと思い、まずは車掌になることを目標として入社しました。入社後、みどりの窓口での業務を1年間務め、2年目から大宮支社女性車掌1期生として車掌を4年間勤めました。その後、運転士になることを目指し、社内試験を受験し研修所で学んだのち、国家試験に合格して運転士を5年間務めました。

車掌のときには、大雪で電車がストップしてしまい、お客さまにお詫びをしまわる中で、その場で励ましの

# **伊川 奈穂子さん**

東日本旅客鉄道株式会社  
さいたま運転区 助役



お手紙をいただいたことを今でも思い出します。電車を運転しているときは、お客さまを乗せて、社会のインフラとしての電車を動かしているという誇りを感じ、駅で停車位置にぴたりと衝動もなく電車を止められるとやりがいを感じました。

その後、支社へ異動になり、産休・育休を取得しながら、経理の仕事を6年間行い、現在の育成助役に着任しました。





## 助役を務める女性は多いのでしょうか？

女性の助役はまだ少ないのが現状ですが、女性乗務員が増えてきていますので、女性の助役が必要な場面も多くなると思います。同期でも助役経験がある女性がいますので、普段から女性管理者同士でコミュニケーションを取っています。

私は大宮支社の女性車掌1期生・女性運転士3期生でしたので、先輩女性社員が少ない中で働いてきました。現在、会社全体でも女性の比率はまだ13%ほどですが、これから女性の職域ややりがいはいはもっと広がっていくと思っています。

助役としてのプレッシャーはありますが、いろいろなキャリアを積んだ私が子育てをしながら助役を務めることで、後輩たちに背中を見せていきたいですし、後輩たちの今後のキャリアの相談に真摯に向き合っていきたいと考えています。



大宮支社に勤務していたとき、財務業務研究発表会で表彰されました



## 宿泊勤務もあるお仕事ですが、子育てとはどのように両立させていらっしゃるのでしょうか。

家族と職場の協力・理解が必要だと考えています。夫婦共働きですので、夫と家事を半分ずつ分担し頑張っています。

保育園のお迎えの日は早く帰らないといけないのですが、その分、夫が早く帰宅する日は私が残業をして仕事を進めるなど、バランスを取っています。

ママさん社員のなかには、それぞれの家庭の事情に合わせて3歳までの時短勤務、または小学校3年生までの短日数勤務を活用して働いている方もいます。



## 鉄道会社を志望する女性に向けてメッセージをお願いします。

以前に比べて、鉄道業界で働く女性は多くなってきました。知識・経験は入社後でも十分得られますので、不安を持たず鉄道業界で働きたいという夢をぜひ大切にしてほしいです。



## 現在のお仕事を教えてください。

東武東上線の池袋～小川町間で電車の運転士をしています。今日は11:00～20:00までの乗務で、池袋で仮眠をとります。明日は朝4:20から乗務をします。乗務前はアルコール検査と出発点呼を実施してから、乗務します。

運転のほかに、主任として業務で使うリーフレットの作成やイベント対応のほか、事故防止委員会への出席などにもしています。



## 和田さんは東武東上線初の女性運転士でいらっしゃいますが、もともと運転士になりたいという思いがあったのでしょうか。

実は、最初から運転士になりたいという強い思いがあったわけではありません。私は医療系の大学を卒業後、まず駅員として駅で4年半ほど勤務をしました。その中で、「車掌にならないか」という声かけがあり、試験を受け

## 和田 恵さん

東武鉄道株式会社 川越乗務管区  
運転士 主任



て、車掌になりました。そして、2年間車掌を経験、キャリアアップとして「運転士試験を受けないか」と上司から声をかけていただきました。その際、運転士は減多になれない仕事だと思い、チャレンジすることを決めました。

運転士になるために、視力等の視機能検査や適性検査を受け、会社の養成所へ入りました。養成所で約4か月間、規則等の勉強をした後学科試験を受験し、続いて



シミュレーションを操作する和田さん

約5か月間、指導操縦者の指導により運転技能を習得、その後技術試験を受け、合格すると動力車操縦者運転免許証を取得し、電車の運転が出来るようになります。学科や運転技能習得に1年ほど勉強しました。勉強は11科目という多種にわたる内容なので大変でしたが、非常に充実していたと思います。

免許取得後、晴れて単独運転士となって3年ほど経ちました。

上り方面の終点・池袋駅でたくさんのお客様が降りるのを見ると、安全に運転できてよかった、と思いますし、小さいお子様が手を振ってくださることも多く、うれしいです。

## 女性の運転士の方は まだまだ少ないようですが…

私は東武東上線女性運転士第1号なのですが、当時は同僚から「頑張ってね」と声をかけられ、緊張しました。

運転士になるには、まず車掌を経るのですが、そもそもまだ女性の車掌が少ないのが現状です。川越乗務管区は、男女別のお風呂や部屋など、女性が宿泊できる設備が整っています。他の乗務管区でもそのような施設が増えてきています。女性が宿泊できる施設が増えることで、女性車掌や運転士も増えていくと思います。

## 鉄道会社、運転士を目指す 女性へのメッセージをお願いします。

体力勝負の仕事なので、体調管理がしっかりできるようになるといいです。特に運転士は乗務すると長時間電車に乗ったままになります。

運転士になるための勉強などは会社の制度が整っていて、入社後にしっかりできるので、まずは元気に挨拶ができて、体調管理ができることが大切だと思います。

# 女性が 少ないところで 活躍する女性は かっこいい！



## 現在のお仕事を教えてください。

車両のメンテナンス業務をしています。故障に対応する局修作業や数日に1度の列車検査、3ヶ月に1度の月検査などです。列車検査のときは泊まり勤務があり、週に1回程度泊まり勤務を行っています。森林公園検修区で勤務していますが、車両故障などのトラブルが起こった場合は現場に駆けつけることもあります。

仕事で大変なのは、モーターを交換するときです。電車を機械で持ち上げてピットに潜ります。また、普段からつま先が金属で守られている安全靴を履いて作業をしています。

自分が修理した電車がお客様を乗せて走っているのを見ると、安全に走っていてよかったと、嬉しく感じます。

## 石田 萌さん

東武鉄道株式会社  
森林公園検修区 検修係







**石田さんは  
車両保守担当者として初めて  
採用された女性で  
いらっしゃいますが、どうして  
この仕事を選んだのでしょうか？  
男性がかなり多い職場で大変な  
ことはなかったですか？**



検修作業は工具を身につけ、ヘルメット、安全靴を着用して行う。



**検修係を目指す女性に  
メッセージをお願いします。**

現場の女性はまだ少ないので、そのような職場でかつこよく仕事をしたい人にはぜひ来てほしいです。また電車で何かあったとき、お客様の前で作業することもあるので、多くの方に見られていてもいつも通りに作業できると思います。

また、もともと駅員志望だったこともあり、現場対応から戻る際に鉄道が好きそうなお子様がいるときには、電車から手を振るなど、サービス精神旺盛に仕事をしています。

私は親戚に鉄道会社で働いている人がいて、もともと駅員志望で就職活動をしていました。就職活動の過程で車両保守の道が選択肢としてあり、女性が少ないところで活躍したいという思いがあったので、より女性の少ない現在の仕事に挑戦しようと思いました。もともと、警察官や自衛官など、女性が少ないところで活躍する女性はかっこいい!という憧れがありました。

大学は文系だったのですが、新入社員研修やOJTで勉強をして、技術を身につけてきました。初めての女性採用ということもあり、入社当初は職場の男性もどのように接すればよいのかと気を遣っている様子でしたので、自分から積極的に話しかけていきました。新入社員時代に指導していただいた方はベテランの社員で、面倒をよく見てもらい、工具や踏み台なども私のために作ってくださいました。また、職場の人にも、「石田さんが来てから職場の雰囲気がよくなったよ」と言われて、自分から積極的に話しかけていてよかったと思いました。

男性が多い職場で日々働く中で心がけていることは、積極的にコミュニケーションを取ることです。業務のときにも話しかけやすいように、例えば「今日は暑いですね」といったちょっとした会話でも、日頃からコミュニケーションをしっかりとるようにしています。

## 運輸科のある 高校です！

国立女性教育会館で合宿をされていた岩倉高等学校理化部みなさんに、運輸科のある高校での学校生活や思い描く将来のことなどをインタビューしました。



**合宿で国立女性教育会館を  
ご利用いただきありがとうございます。  
理化部はどのような活動を  
されているのですか？**

**水上：**今回の合宿では日頃の研究活動の中間報告を行いました。2年生になるとテーマを決めて研究をしています。

**渡邊：**僕は鉄道以外にも昆虫に興味があって、ナミテントウムシの模様の遺伝について調べています。

**本橋：**僕は紙飛行機の実験をしています。今回の合宿でも50種類くらい折って飛行テストしました。



**さて、岩倉高等学校は、  
平成26(2014)年に男女共学に  
なりましたが、女子生徒は  
どれくらいいるのでしょうか？**

**水上：**共学化以降、毎年女子生徒は増えていて、今年度の1年生は普通科で男女比が6:4くらいになっています。(普通科はスポーツコースを除くと男子179人女子118人でした)運輸科はまだ女子は少ないですが、毎年入学しています。現在の1年生は女子3名、男子97名ですが、今日はそのうちの2人が来ています。

## 岩倉高等学校

理化部顧問 水上 光市 先生  
理化部 1 年生 飯塚さん(運輸科)、大嶋さん(運輸科)  
理化部 2 年生 本橋さん(普通科)、渡邊さん(普通科)  
(以下敬称略)



前列左から・飯塚さん、大嶋さん  
後列左から・渡邊さん、本橋さん、水上先生



**みなさんが岩倉高等学校に  
進学された理由を教えてください。**

**渡邊：**小さい頃から鉄道に興味があって岩倉高校に進学しました。普通科に進学したのは、大学に進学してから鉄道会社に就職したいと思ったからです。

**本橋：**祖父が国鉄職員だったこともあり、鉄道会社への就職のために運輸科に進学しようとも考えたのですが、親からのすすめもあり、まずは普通科で勉強してから鉄道会社に就職しようと思いました。その中で将来の夢が変わり、今は大学進学を目指して勉強しています。

**飯塚：**私は鉄道会社への就職を目指して運輸科に進学しました。小学校3年生のときに家族で旅行して以来、東武の特急スペーシアが好きで、中学校2年生のころから岩倉高校に進学したいと思っていました。





**大嶋：**祖父が国鉄職員だったので、縁があったのかなと思います。また、女子が少ない高校を探しました。実際に入学してみて、女子が少ないとお互い仲良く出来るのでよかったなと思っています。

## 運輸科ではどのようなことを学ぶのでしょうか？

**水上：**今日来ている運輸科の1年生は、現在、鉄道のことを学ぶ営業概論Ⅰと旅行に関することを学ぶ旅行業務の授業を履修しています。2年生、3年生になると専門の科目が増えていきます。

**飯塚：**営業概論Ⅰは鉄道のことを学べることもあり、生徒の間でも人気です。今は切符の種類や全国の路線などを勉強しています。

**大嶋：**旅行業務では、旅行の登録など旅行に関することを勉強しています。初めて聞くことが多くてちょっと難しいです。

## 普通科でも鉄道が好きな生徒は多いのでしょうか？

**本橋：**はい、多いです。岩倉高等学校では、普通科の生徒も鉄道会社でのインターンシップに参加できるので、僕はこの夏に東武鉄道のインターンシップに参加しました。

3日間、ホームでの案内や窓口での仕事や挨拶、清掃などを行いました。

**渡邊：**僕は冬に東京メトロのインターンシップに参加する予定です。

## 将来こんな仕事をしてみたい、という夢はありますか？

**飯塚：**今後の選択科目では工業系の授業を取って、将来は

車掌になりたいです。鉄道というと男性のイメージがあるかもしれませんが、女子でも私みたいに鉄道が好きでやってみたいという人もいし、職業選択に男女は関係無いと思っています。

**大嶋：**私はこれから勉強する中で、考えていきたいです。

**渡邊：**僕は鉄道が好きなのですが、たくさん職種がある中で、どの仕事をしたいかはまだ決まっていないので、大学へ進学して進路を考えていきたいです。総合職で出来る仕事を広げて鉄道業界で働きたいと考えています。

**本橋：**僕は高校の理科の教師になりたいです。大学へ行って専攻した内容を勉強し、教員免許を取って良い先生になりたいです。

## 進学を考えている女子中学生へのメッセージをお願いします。

**飯塚：**今は女子が少ないので、これから女子にもたくさん入学してきてほしいです。勉強も科目などが多く、覚えることもたくさんあるので、やる気と覚悟を持って入学してほしいです。

**大嶋：**私は運輸科を強く希望して入学したわけではないけれども、入学後に進路を考えるイベントに参加でき、就職だけでなく、進学も考える機会もありました。運輸科に入ってから、なりたい仕事や進学をゆっくり考えてもいいと思います。これから女子生徒が増えてほしいと思います。



# 同じ趣味を持つ 仲間と自分の 「好き」の世界を 広げる

## 早稲田大学鉄道研究会について教えてください。

**川崎：**鉄道研究会としての大きなイベントは、夏合宿と大学の文化祭である早稲田祭の2つです。今年の夏合宿では、廃止の決定しているJR札沼線（北海道）で貸切列車の運行を実施しました。早稲田祭では鉄道模型のレイアウト展示や、切符、鉄道写真、鉄道部品などの展示を行っており、毎年多くのお客様に来場していただいています。

当会は昭和27(1952)年に設立され、現在では70人ほどの会員が所属しています。現在女性会員は6人在籍しています。20年以上前から女性会員が在籍されていたことです。早稲田大学のほかにも、自身の大学に鉄道研究会が無い方も参加されています。

## みなさんはどのような活動をされていますか？

**武内：**鉄道会社が観光記念やイベントなどで発売している記念切符を集めるのが好きなのでコレクションしています。また旅行プランを練るのが好きなので、よく時刻表を広げて効率的な乗り換えルートを考えています。そこか

# 早稲田大学鉄道研究会

**武内 優希さん**  
早稲田大学3年生 鉄道会社に勤めている社会人学生（写真上）

**minaさん**  
早稲田大学3年生

**川崎 直樹さん**  
早稲田大学3年生 早稲田大学鉄道研究会幹事（写真下）  
（以下敬称略）



ら発展して路線の運行形態やダイヤを研究しています。

**mina：**普段は空き時間に部室で雑談をしたり、企画してもらった合宿などのイベントに参加したりしています。また、鉄道研究会ならではのアルバイトの紹介などもあるので、何度か携わらせていただきました。

やはり同じ趣味を持つ人達が集まっているので共通の話題が作りやすいということはもちろんですが、私自身

鉄道に関する知識が豊富というわけではないので、入会したからこそ得られた知識などもたくさんあります。

**川崎：**私は鉄道に乗ることがメインの旅行、いわゆる乗鉄の活動がメインです。乗鉄の活動として個人的に楽しんで行っているのが計画をです。時刻表を眺めながら今回はどこの路線を使ってみようかと、どんな切符を使って旅行しようかなどを考える時間がけっこう楽しかったりします。旅行中に、駅弁を食べたり、景色を眺めたり、音楽を聴いたり、写真を撮ったりと、車内で思い思いの時間を過ごせるのも乗鉄の魅力だと思います。

## 女性の方は少ないと聞きますが、入会されるときは気になりましたか？

**武内：**大学入学が決まってすぐにサークル探しを始めたのですが、鉄道研究会はホームページを持っていて、掲載されている集合写真の様子から数人の女性会員がいることは入会前から把握していたのですが、やはり最初は緊張しましたね。特に私は社会人学生としての入学だったので、事前にメールなどでも問い合わせしていました。新歓の日は先輩の方々から歓迎していただき、最初は1年生唯一の女性会員だったので少し浮いた存在でしたが、私の方から男性会員の話題に合わせるように心がけて、徐々に仲良くなれたと思います。

**mina：**入る前から女性が少ないと聞いていたので世間体などを気にして躊躇いましたし、今でも他の場所での知り合いに鉄道研究会に所属していることを話すのは少し抵抗があります。

男性と話すことにそこまで抵抗がないので、活動において特に不自由を感じたことはありません。ただ、合宿の際に女性の参加者が私一人だったことがあり、幹事が宿に取り合って一人部屋を用意してくれたりと気遣いしてくれて申し訳なくなることはありました。

## 女性鉄道ファンは増えていると感じることはありますか？

**武内：**増えていると感じます。ただし男性のように鉄道そのものに興味を持つより、鉄道を利用した旅行や観光列車などに対するファンがほとんどだと思います。実際、地方の観光列車に乗車すると女性グループでいっぱいということは多いですね。ただ、早稲田祭で発車メロディ体験コーナーというものがあるのですが、これが女性に人気だったのが印象的です。最近ではご当地メロディを導入する駅もあるので、鉄道会社の皆さまはぜひPRして欲しいですね。

## 鉄道研究会に興味のある高校生、大学生や鉄道ファンの女性たちへのメッセージをお願いします。

**武内：**鉄道趣味は男性だけの世界ではありません。最近は女性の鉄道員さんも多くなり、鉄道における女性の目線がとても大切になっています。学生の皆さんはぜひ鉄道研究会で自分の「好き」の世界を広げてみてはどうでしょうか？

**mina：**私も元々入会に抵抗があったので抵抗があるのもとてもよくわかりますが、趣味を隠すことなく話せる相手ができるのはとても楽しいと思います。入会して同じ趣味を持つ者同士集まったからこそできた経験もあるので、一度顔を出すだけでも出してみればいいんじゃないかなと思います。



平成30年度  
国立女性教育会館 女性アーカイブセンター  
企画展示

## 鉄道と女性展

鉄道を動かし、社会を動かす インタビュー集

平成30年（2018）11月12日 発行

【編集・発行】

独立行政法人 国立女性教育会館 情報課  
埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

【印刷】

株式会社石井印刷